

USER REPORT

VOL.7



Interview

ひがき眼科クリニック
院長

檜垣 正彦先生

iCare IC100 手持眼圧計

アイケア IC100手持眼圧計は点眼麻酔不要のリバウンドテクノロジーを用いた最新の眼圧計です。デザインとユーザーインターフェースを一新し、さらなる使いやすさを実現しました。プロフェッショナルのための眼圧計アイケア IC100を日々活用されているドクターにお話を伺いました。

USER REPORT

エムイーテクニカ
ユーザーレポート

VOL.7



ユーザー紹介 ひがき眼科クリニック 様

ひがき眼科クリニックは、2020年8月に浜松市の三方原地区で開院しました。この地域は人口が多い割に眼科クリニックが少なく、少しでも眼の病気で困っている患者さまのお役に立ちたいと思い、開業を決意したそうです。また、英語での診療にも対応しているため、多くの外国人移住者が院長を頼って来られるとのこと。開業当初より『アイケアIC100手持眼圧計』を導入されている当クリニック。実際の医療現場ではどのように使用されているのでしょうか。檜垣先生にお話を伺いました。

場所を選ばずどこでも どんな人にも眼圧測定ができるのがメリットです。

Q IC100導入のきっかけを教えてください。

これまで大学病院や地方の病院、聖隷浜松病院、浜松市北区の十全記念病院など、さまざまな病院で眼科医として勤務してきましたが、どの施設でも手持眼圧計が使われていました。歩行が困難な方や、車椅子を使用されている方が多い大きな病院では、病棟に手持眼圧計を持って行き測定していたので、有用性は十分に感じていました。だから開院するにあたってアイケア社の手持眼圧計を導入することは、当然のこととして決めていました。

Q 据え置き型の眼圧計のみだと不便なシチュエーションはありますか。



ノンコンタクトトノメーター（※以下、NCT）ですと、まず患者さんに機器のある場所まで来ていただき、椅子に座って顎を乗せていただく必要がありますが、それが出来

ない方もいらっしゃるんです。例えば、車椅子の方や、麻痺のある方などに、顎台に顎を乗せていただくことは非常に困難ですよね。他にも、NCTから出る風が苦手な方を測定する場合には、正確な眼圧値が得られないことがあります。それは目に力が入り実際の眼圧値に比べて測定値が高くなる場合があるからです。特にお子さんなどは風が当たるのを怖がる人が多いです。

Q 実際にIC100を使用して、どのように感じましたか。

「眼圧計」といえば、ゴールドマンアプラーネーショントノメーター（※以下、GAT）が世界のゴールドスタンダードですが、アイケアの場合はそれに準ずる正確さがあります。面倒なキャリブレーションや特別なテクニックは必要なく、再現性の高いデータが得られるのがいいですね。学会の報告ではGATよりむしろ再現性は高いという報告もあります。

これまでの手持眼圧計は検査時に点眼麻酔が必要でしたが、アイケアは点眼麻酔なしで測定することができます。診察する側の手間がないことはもちろんですが、患者さんに点眼麻酔による不快感を与えないのは大きなメリットと言えます。

Q 操作性、機能面についてはいかがですか。

アイケア社の眼圧計は、直径が1.7mmのマッチ棒のような形状の「プローブ」が直接眼に当たることにより眼圧を測定するリバウンド式です。プローブは極小で優しく角膜に接触するので、全く痛みも感じず、わずか数秒で測定は完了します。プローブはディスポーザブルで毎回交換するので、感染症や微生物汚染の心配もありません。

操作はとても簡単で、特別な訓練をしなくても誰にでも使えます。ボタンを長押しすれば6回の連続測定が可能で、平均値を自動で計算し、値の正確性も向上していると思います。また、IC100ではナビゲーションボタンの操作性も良く、ディスプレイも見やすくなりましたね。



ひがき眼科クリニック 院長
檜垣 正彦 先生



操作も簡単。 特別な訓練がなくても誰でも使えるのがいいですね。

Q スタッフの方の評価はいかがですか。

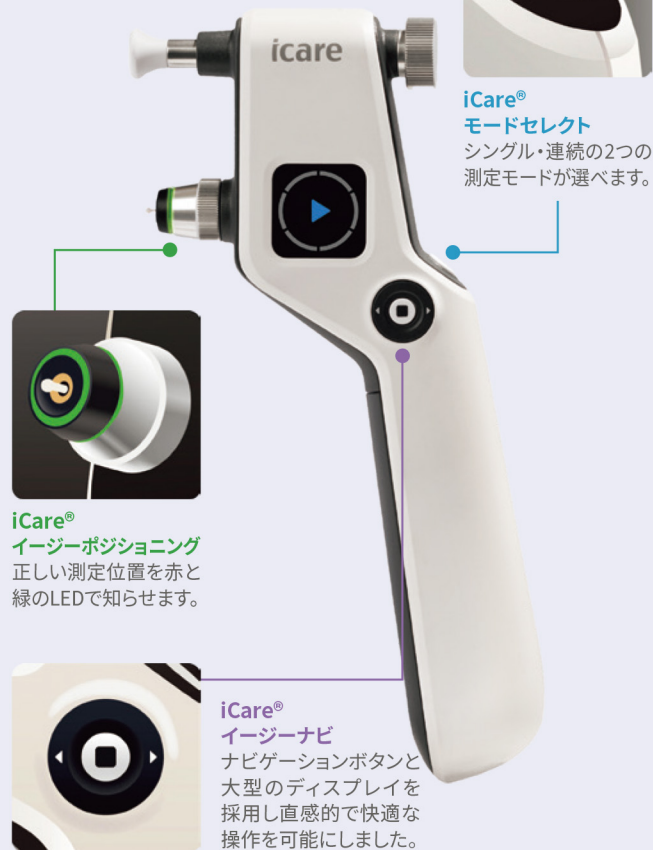
やはりどこでも測定できるという面で使いやすさを感じているようです。患者さんに移動してもらうよりも、スタッフが患者さんのところに移動する方がスムーズです。また、眼瞼下垂の方などは、NCTですと測定しにくいのでスタッフが検査時に患者さんの顔を軽く持ち上げるのですが、そうすることで眼球が圧迫されて測定値に支障が出る場合があります。IC100だとプローブの先端が細いため、そうした患者さんに対しても顔を持ち上げることなく測定が可能となり、スタッフの作業軽減にもつながります。また操作に慣れていなくても正確に測定することができます。測定データについても、結果を自動的に算出してくれるので、数値の管理も簡単で、評価は上々です。

Q 患者さんの反応はいかがですか。



患者さんのなかには、眼圧の測定には時間もかかり大変だという印象をお持ちの方もいらっしゃいますが、IC100は風も出ませんし痛みもないのでどんな方もリラックスして検査を受けていただくことができます。IC100を初めて利用した患者さんからは「早くて楽ですね」という声をいただいています。

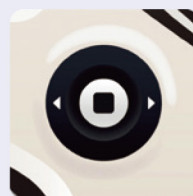
KEY FEATURES 主な特徴



**iCare®
モードセレクト**
シングル・連続の2つの測定モードが選べます。



**iCare®
イージーポジショニング**
正しい測定位置を赤と緑のLEDで知らせます。



**iCare®
イージーナビ**
ナビゲーションボタンと大型のディスプレイを採用し直感的で快適な操作を可能にしました。

緑内障治療における眼圧の管理に IC100はとても有用だと感じています。

Q 現在のIC100使用状況について教えてください。

来院されるすべての方の眼圧を測るということはありませんが、平均して1日に10～15人程度でしょうか。当院ではNCTとGAT、IC100の3種類の測定方法がありますが、緑内障の重症度によっても機種を使い分けています。またNCTで数値がばらついている患者さんにはIC100をメインで使用することが多いです。

Q 特にIC100が有用と感じる場面、症例はありますか。

やはりNCTでどうしても測定できない患者さんが来られたときには、導入していて良かったと感じますね。座っていても、あるいは、立ったままでも測定することができるので、長時間じっとしているのが苦手なお子さんでも、短時間で測定することができます。コンパクトで持ち運びに便利なので、こちらから患者さんの元に行き測定できるのは大きなメリットだと思います。

また、症例によってはNCTで数値が出なかったことがありましたが、IC100を使うことで測定することができました。GATに近い精度の結果が得られるのはとても助かります。

Q エムイーテクニカのサポート体制はいかがですか。

以前に、IC100を点検に出したことがありましたが、すぐに代替器を持ってきてもらったので診察に支障が出たことはありません。スタッフからもいつも迅速に対応してもらっている聞いています。

Q IC100の問題点や改善点、今後に期待することを教えてください。

IC100は角膜の厚みの影響を受けやすい特性がありますね。また単3電池を4本使用するため、少し重いと感ずることがあります。充電式なら軽量化できるのではと思いますが、外出先でバッテリーがなくなった時のことを考えると、電池交換で利用できる方がメリットがありますし、良し悪しですね。



Q 最後に、IC100導入を検討されている先生に一言お願いします。

IC100を導入することで、今までNCT・GATで測定が難しかった患者さんでも眼圧測定が可能になります。全ての患者さんにIC100を使う必要はないかと思いますが、NCT・GATと併用して使うことでかなり時間の節約になります。また最新の検査機器を導入し、患者さんに負担のない検査や治療を行うことを重要視する医師にとって、IC100は緑内障治療における眼圧の管理にとっても有用だと思います。

檜垣先生、ありがとうございました。

INFORMATION



〒433-8105 静岡県浜松市北区三方原町228-4
TEL : 053-414-3131
<https://higakiganka.com/>

